

見附市教育センターだより



〒954-0052

見附市学校町 2 - 7 - 9

電話/Fax 0258-62-2343

E-mail mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp

令和5年4月24日 NO.1

朝の登校の様子

(見附小学校玄関前)

学校のニーズに応える教育センター

～教職員の力量形成、子ども・保護者・学校に

寄り添った支援を目指して～

教育センター所長 佐藤 昌弘



見附市教育委員会は、見附市のまちづくりの理念を受け、「ふるさと見附を愛する子ども」「世に役立つことを喜びとする子ども」の育成を目指し、見附の特色を生かし、見附とともに歩む学校づくりを推進しています。

令和5年度も「確かな学力の向上」と「生徒指導上の諸問題の未然防止及び対応の充実」を重点課題と捉え、見附市教育センターの支援機能を発揮し、教育支援部・科学教育部・教育相談部が互いに連携し、各校の課題解決に向けて教職員の皆様をサポートしてまいります。

「確かな学力の向上」に向けては、見附ならではの取組である「師がく」と「4時から夢塾」を柱として、教職員の資質・能力の向上を目指します。

「師がく」は、教師に大事にしてもらいたい視点「見附 教師の10カ条」のもと、受講者一人一人の目標や課題に寄り添い、嘱託指導主事・外部指導者によるマンツーマンの研修を行います。「4時から夢塾」は、働き方改革に対応したコンパクトな研修です。経験豊富な教職員OB、大学・研究機関の専門家、附属長岡校園の先生方による師範授業や講話等、今日的な課題を取り上げ、教師の指導技術、教師力、人間力の育成を目指します。今年度も、児童生徒理解、ICT機器の活用、授業改善、特別支援教育の充実等の講座を予定しています。

「生徒指導上の諸問題の未然防止及び対応の充実」に向けては、今年度、新たな嘱託指導主事を配置し、悩みや不安を抱えて困っている子どもや保護者、学校現場に寄り添った指導・助言に努めてまいります。

「すこやかルーム」(適応指導教室)は、個に応じた支援や人間関係づくりの活動を通して、自立性、社会性を育む教室です。訪問指導と併せて、学校生活に適應できない児童生徒の支援に努め、心の元気を取り戻し、学校で学べるように援助していきます。また、青少年育成センター等の関係機関との連携も強化し、学校、家庭の課題解決に当たります。

子どもたち一人一人が輝き、自らの可能性を伸ばしていくためには、学校の最大の教育環境である教職員の力量形成が欠かせません。今年度も教育センターのスタッフ一同、学校のニーズに応えるための研修や相談体制の充実を図り、教職員の皆様が笑顔で自信をもって子どもたちの指導に当たれるように全力で支えてまいります。どうぞよろしくお祈りいたします。

巻頭写真に寄せて 「学校が楽しい、早くみんなに会いたい」

◇新年度が始まり半月、新1年生も学校生活に慣れてきた頃だろうか。今春は3月が温暖で、桜の開花が早く入学式の日には散りかけていた。その後は三寒四温の繰り返し、夏日と冬のような気温の日、一日の中で十度以上も変化がある日など、体調管理には注意を払う日々が続いている。



◇さて、私の勤務する教育センターは見附小学校区にある。

入学式後の数日間は、担任の先生たちが引率をし、方面別で集団下校があった。それ以後は、見守り隊の皆さんと下校をしている。下校する子どもたちの元気な声を、教育センターの事務室から聞くのが、毎日の楽しみである。

1年生を出迎える後藤校長

◇巻頭写真は18日(火)の朝、見附小学校の登校時の様子である。寒い日であったが、朝7時半に教育センター脇の交差点を、この日担当の保護者が横断旗を使って、子どもたちを安全に渡していた。その様子を見ながら、学校に向かうと、校長先生や生活指導主任たちが玄関付近で、子どもたち一人一人に一声かけて出迎えていた。寒い朝で、声がやや小さいように感じたが、暖かい日は、『学校生活が楽しくて、早くみんなに会いたい。』の気持ちの入った大きな声での『おはようございます』が聞こえるに違いない。

コラム 教師も『地域貢献』を大いにするべし

◇4月から新社会人になられた人や年度末年度始めの異動で職場が変わられた人等、新たな気持ちで今、仕事をされている人も多いと思います。

◇教職員は子どもたちの笑顔のために、日々忙しく生活をしてはいますが「ぜひ、自分の時間を大切にしたい生活をして欲しい」と願っています。私生活の充実には心にゆとりを生み、子どもたちに大きな心で接することができます。自分の時間を大切に一番は、趣味をもつことです。読書や習い事等だけでなく、旅行や友人との会食、ジムでの運動、ドライブも良いと思います。趣味がない、何をやったらと悩む人へ私の趣味を教えます。

◇現役時代の私も趣味がなかったのですが、苦はありませんでした。しかし、退職をすると、多彩な才能を持つ友人を羨ましく感じました。手先の器用な者は切り絵の趣味を生かし、それを生業にしています。短歌や短編小説を書く者は本を出版し、短歌を投稿しています。私は彼の歌を新聞の文芸欄で探す中で、何人もの知人を俳句や短歌、川柳等の欄で見つけました。また、書道や陶芸、絵画や彫刻、写真等様々な芸術の分野で頑張っている者もいます。「これではいけない。私も何かやらなくては」と焦りましたが、ふと新聞紙上で、友人知人の作品や考えに学ぶこと。これも趣味ではないか。様々な展覧会等で知人の作品や優れた芸術作品を鑑賞する。これも趣味に違いない。他人の優れたものを学んだり、心豊かになったりすることも趣味ではないかと考えるようになり、私の趣味は芸術鑑賞です。気分転換やリラックスできる。豊かな気持ちになれることが趣味でいいと思います。忙しい毎日でしょうが、ぜひ趣味のある生活をしてください。

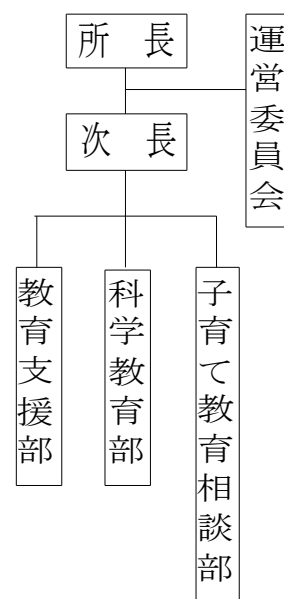
◇さて先月、I中学校のK先生から「オペラを歌うので『芸術祭2023』に来ませんか」と誘いを受けました。芸術祭は市民の趣味やサークル活動の発表の場で、様々なジャンルの発表がありました。K先生が友人と二重唱で、プロのような声量でオペラを歌われ、素晴らしい歌声が会場を感動の渦に包みました。学校は教育活動に、地域の皆さんから助けていただくことが多いです。一方で、教職員が地域で何かをすることは少ないです。K先生の姿から、教師も特技や趣味で、地域貢献をしていかなければと考えました。(こ)

令和5年度 見附市教育センター組織

運営委員会	
委員	近藤 芳生 (教育部長)
	笠原 健児 (田井小学校校長)
	小林 純 (西中学校教頭)
	桶谷 圭介 (見附中学校教諭)
	鈴木 夏貴 (見附小学校教諭)

教育センター スタッフ	
所長	佐藤 昌弘 (学校教育課長)
次長	小林 修 (嘱託指導主事)
教育支援部	外山 孝 (嘱託指導主事)
同上(学教兼務)	倉上美津枝・多田 茂 (嘱託指導主事)
科学教育部	早田 秀夫 (嘱託指導主事)
理科協力員	長谷 一弘 (見附中学校教諭)
指導員	小川 義実, 大高恵美子 (訪問指導員)
事務員	清水 香織 (センター事務)

教育センター組織図



* 科学教育部の業務は後掲

教育支援部

- 【業務】** ア 学校及び園の運営に関係する職員の資質・指導力向上を図る専門的実践的な研修に関すること。
 イ 定期及び要請による学校及び保育園への訪問相談及び指導に関すること。
 ウ その他 教育及び保育の振興に関すること。

小林 修	外山 孝	早田 秀夫	倉上美津枝	多田 茂
・ 学校訪問 ・ 要請訪問 ・ 師がく ・ 教育相談 ・ 指導力向上 D				
・ 教育センター業務推進 ・ 4時から夢塾 ・ 教育センターだより ・ 教科書センター	・ 幼保小中連携一貫教育推進 ・ 就学支援, 教育相談 ・ みつけ子ども大学	・ 科学教育の振興 ・ 科学フェスティバル, ・ 土曜科学教室 ・ みつけ塾の活用	・ 健康教育 (SWS 事業) ・ 特別支援教育 (就学支援, 相談対応, 研修会)	・ いじめ・不登校 他児童生徒問題 ・ 心の教室相談員 ・ 外国語, 外国語活動の推進 ・ ALT 活用関係

子育て教育相談部

【担当】 小川 義実・大高恵美子

- 【業務】** ア 心身の発達, 不登校, いじめ等に関わる児童生徒, 保護者及び教育の相談に関すること。
 イ 適応指導教室(すこやかルーム)の運営及び訪問指導に関すること。
 ウ 教育相談及び就学支援に関すること。
 エ 保育園, 子育て支援センター等の相談に関すること。

令和5年度 「四時から夢塾」予定

月	日	曜	内 容	講 師
5	31	水	考察力を高めるには（仮）	篠田 英 県立教育セン 指導主事
6	2	金	幼保小の円滑な接続と適度な段差	外山 孝 教育センター嘱託指導主事
6	26	月	運動感覚の獲得～遊びからの発見～	伊藤 巨志 新潟県立大学 教授
7	5	水	子どもの心と体の健康	小川 洋平 新潟大学医学部 医師
7	12	水	問題行動のある子どもたちへの手立て	近藤 和行 今町小言語通級指導者
8	30	水	上手な子ども・保護者への寄り添い方	古田島真樹 長岡/青葉台小学校校長
10	17	火	子どもの心の声が聞こえますか-PART2-	吉沢嘉一郎 心と学びの支援センター
1	学	期	小 GIGA 研修 実際の授業に学ぶ	石井 智也 今町小学校 教諭
1	学	期	中 GIGA 研修 実践と模擬授業に学ぶ	山崎 寛山 西 中学校 教諭
2	学	期	「示範授業」小：国語 ＊会場：見附小	小瀧 雄一 附属長岡小学校教諭
2	学	期	「示範授業」小：算数 ＊会場：今町小	瀬下 真心 附属長岡小学校教諭
2	学	期	「示範授業」中：国語 ＊会場：今町中	伊藤 裕 附属長岡中学校教諭
2	学	期	「示範授業」中：数学 ＊会場：南 中	白井 康智 附属長岡中学校教諭
1	16	火	校長先生からの「メッセージ」	藤ノ木昌史 上北谷小学校 校長
2	8	木	校長先生からの「メッセージ」	吉田 孝則 今町小学校 校長

令和5年度 年度の重点



◇ 全講座とも希望者で開催 ◇ 喫緊の課題の講座を設定

○優れた実践者を招へいし、「わかる・楽しい」授業を目指した**授業力向上講座**

・附属校教員による示範授業の研修・端末活用の優れた実践者から指導を学ぶ研修

○子ども・保護者への**寄り添い方の講座**

・上手な子どもへの寄り添い方の実技研修・保護者への関わり方や対応を学ぶ研修

○子どもの**心身の発達の確かな理解講座** ・大学医師，大学教授による講座

○幼保小が**円滑な接続をするための講座** ・幼保小パンフ(改訂版)を理解する研修

他に

・校長メッセージの内容は一か月前までに，正式タイトルで案内する。

・示範授業・GIGA 講座の実施日は，授業者で決める。決定次第，案内をする。

・会場は示範授業・GIGA 講座等は実施校で，他は市役所 4 F 大会議室。

4月

科学教育部



今年度、新潟県地区理科センター制度は60周年を迎えます

- 【業務】
- ア 理科教育に関わる専門的・技術的な事項の調査及び研究並びに教職員の研修に関すること。
 - イ 理科教材，教具その他資料の収集及び管理に関すること。
 - ウ その他理科教育振興に必要な事項に関すること。

【担当】

嘱託指導主事
早田秀夫



協力員
長谷一弘
(見附中学校教諭)



[見附の子どもたちのために理科の充実を目指しましょう]

○単元の具体的な指導方法を知りたい

→学習指導要領に沿った単元別研修を実施します。

令和5年度
科学教育部 兼任所員の先生

○野外観察に出かけたい

→植物観察研修・野外観察研修はいかがですか？

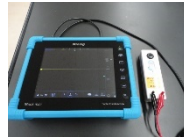
学校名	兼任所員
見附小	酒井 美幸
新潟小	野村 恭一
見附中	早田 浩延
西中	植木 真紀

○教材・教具を貸してほしい

→科学教育部の備品をお貸しします。各学校にないものでも科学教育部にあるかもしれません。



(例) ワイヤレス力学システム



オシロスコープ

要請研修会や要請訪問も受け付けております～こんなときに活用してください～

<要請研修会>

- 研修会に参加したいけれど日程の都合がつかない。
- 理科を初めてもしくは、経験がない学年で不安がある。
- 実験の方法がわからない，予備実験でうまくいかない。

<要請訪問>

- 科学クラブや PTA の活動での専門的な指導をしてほしい。

教育センター 科学教育部 担当：早田・長谷

TEL・FAX 62-2343

E-mail mrisen@mitsukey-ngt.ed.jp

C4th の個人連絡

「教育委員会 教育センター」

【令和5年度の研修会】

※1 単元別研修会の開始時刻は、授業後に参加しやすいように基本的には15:40から設定しています。研修時間は約1時間ですので、お気軽にご参加ください。

※2 各研修の申し込みは理科主任の先生方に参加希望の旨をお伝えください。



① 単元別研修会

	学年	単元名	日時	内容
1	中3	運動とエネルギー	4月27日(木)	ChromeBookとワイヤレス接続した力学台車の運動の記録及び解析
2	小	天体を学ぶ	6月15日(木)	小3～小6の天体学習のポイント
3	小5	雲と天気の変化	6月29日(木)	ChromeBookを活用した指導
4	生活	動くおもちゃづくり	8月31日(木)	簡単に作れる動くおもちゃを紹介
5	小3	音を伝えよう	9月7日(木)	音を可視化する方法を紹介
6	小6	大地のつくりと変化	10月5日(木)	簡易鉱物顕微鏡で鉱物を観察
7	小5	電流のはたらき	10月12日(木)	条件制御を意識した電磁石の指導
8	小4	ものの温まり方	10月26日(木)	温まり方を可視化する方法を紹介
9	中1	身のまわりの現象	11月9日(木)	音と光の実験について
10	小6	電気と私たちの生活	11月16日(木)	手回し発電機や光電池の実験について
11	中2	電流とそのはたらき	11月30日(木)	課題解決学習の設定や実験方法の立案
12	小3	ものの重さを調べる	12月14日(木)	ものの重さと形、体積との関係について
13	小4	人の体のつくりと運動	1月25日(木)	骨や筋肉のつくりと働きについて

② 野外研修会

	研修会名	日時と内容
1	植物観察会 会場：見附小学校 講師：五百川 裕 様(上教大教授)	5月29日(月) 15:10～16:40 校外の活動で活用できる「大平森林公園」で植物観察会を行います。散策して里山の植物を観察します。
2	天体観察会 会場：教育センター屋上	9月21日(木) 19:00～20:30 アンタレス食とエンケ彗星の天体ショーの日。木星と土星の観察も可能。

③ 基礎実験講座

	研 修 会 名	日 時 と 内 容
1	顕微鏡実習	5月11日(木) 15:40~16:40 顕微鏡の基本的な使用方法を確認して、安全に楽しく観察できる方法を研修します。また、水中生物の観察やメダカの卵の採取から観察までを扱いますので、小学校5年生単元「魚のたんじょう」に活用できます。

④ 2学期準備講座

	研 修 会 名	日 時 と 内 容
1	中学年 2学期準備講座	7月27日(木) 13:30~15:00 2学期に中学年(小学校3・4年生)で行う実験のポイントを含めて予備実験を行います。準備や実験をスムーズに行い、負担感を減らせるような方法を紹介します。研修で行う実験以外でも、2学期以降の内容について予備実験を行いたいものがあれば、可能な限り対応します。
2	高学年 2学期準備講座	7月28日(金) 13:30~15:00 2学期に高学年(小学校5・6年生)で行う実験のポイントを含めて予備実験を行います。準備や実験をスムーズに行い、負担感を減らせるような方法を紹介します。研修で行う実験以外でも、2学期以降の内容について予備実験を行いたいものがあれば、可能な限り対応します。

【児童・生徒を対象とした事業】

[見附市児童・生徒科学研究発表会]

期日：9月28日(木)
会場：見附市中央公民館

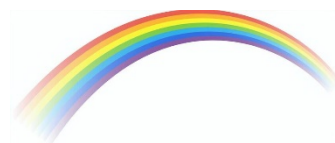


[見附市児童・生徒夏休み作品展]

期日：9月30日(土)~10月1日(日) 9:30~16:30
会場：ネーブルみつけ

[土曜子ども科学教室] 原則小学校3年生~6年生対象

	日 時	主な内容
1	5/13 10:00~11:30	飛行の科学
2	6/24 10:00~11:30	色の科学
3	8/26 10:00~11:30	光の科学
4	11/11 10:00~11:30	調理の科学
5	2/ 3 10:00~11:30	電気の科学



※内容を変更することもあります。

科学の公園

国産の量子コンピュータがクラウド上で稼働します。

理化学研究所は量子コンピュータの国産初号機を3月27日にクラウド公開し、外部から研究に使ってもらうサービスの運用を開始すると明らかにしました。初めての国産機が整備されることで研究人材の裾野が広がり、量子情報技術の研究開発が促進されると期待されています。



国産初号機として開発中の量子コンピュータ＝埼玉県和光市の理化学研究所（鴨志田拓海氏撮影）

量子コンピュータは、スーパーコンピュータでも不可能な計算が可能になるとされています。次世代の「夢の計算機」です。国産初号機は、2022年4月に策定された政府戦略の「量子未来社会ビジョン」で22年度中の整備が掲げられ、理化学研究所の量子コンピュータ研究センター（RQC、埼玉県和光市）で開発が進められていました。世界中で量子コンピュータの開発競争が激化する中で、日本の国際競争力向上の起爆剤となるかが注目されています。

クラウド公開当初は、大阪大など初号機の開発に関わった研究チームや、共同研究者を中心に利用してもらい、段階的に産業界も含めて幅広い層が使える態勢を目指しています。

開発を率いた中村泰信 RQC センター長は「量子コンピュータを作る側と、使うユーザー側が実機に触れながら情報交換し、より良いものを作る共同作業の場になれば」と期待を込めています。

日本では量子情報技術を担う人材の不足が課題となっていることから、中村氏は「人材育成という観点で、半導体など産業の他の分野で活躍している人にも関心を持って参入していただきたい」と話していました。

スパコンと量子コンピュータを組み合わせ、これまでにない高度な計算に使おうとする研究分野への関心が世界的に高まっています。今回、国産機が整備されたことで理化学研究所が運用するスーパーコンピュータ「富岳」などつつなく研究開発も今後進みそうです。

なお、理化学研究所では、5月31日まで、国産量子コンピュータ初号機の愛称を募集しています。興味のある方は、

https://www.riken.jp/pr/news/2023/20230407_1/index.html
を訪れてみてください。

【参考文献】 <https://riken.jp/>